

（3）2017年度の業績見通し

本日(4月28日)株式売却を決定した富士通テン(ユビキタスソリューション)は、売上収益及び営業利益については2017年度(予想)には含めておりません。2016年度(実績)についても売上収益(△3,767億円)及び営業利益(△114億円)を組み替えて表示しています。

売上収益は4兆1,000億円と、ニフティの売却による約500億円の減額の影響を除くとほぼ前年度並みとなります。携帯電話はスマートフォンの買換えサイクルの長期化により減収となる見込みですが、海外サービスの増収に加え、LSIの所要回復による増収もあり前年度並みとなる見込みです。

営業利益は1,850億円と、前年度から675億円の増益を計画しています。前年度にあったビジネスモデル変革費用420億円がなくなる好転要因があります。費用が先行した過去2年とは異なり、2017年度のビジネスモデル変革は、費用と収益を相殺出来るため損益影響は生じない計画です。セグメント別では、テクノロジーソリューションのサービスが、519億円の増益を計画しています。ビジネスモデル変革費用の負担減少影響336億、海外サービスの回復に加え、国内では、サービスを中心とした着実な増益を見込んでおります。また、デバイスソリューションにおいて、増収効果を中心に97億円の増益を計画しています。

親会社の所有者に帰属する当期利益は1,450億円と、前年度から565億円の増益を計画しています。なお、為替レートは、米国ドル105円、ユーロ115円、英国ポンド130円を想定しています。

[通期]

(単位:億円)

	2016年度 (実績)	2017年度 (予想)	前年度比	
				増減率(%)
売上収益	41,329	41,000	△329	△0.8
営業利益	1,174	1,850	675	57.5
[ビジネスモデル変革費用]	[△420]	[-]	[420]	-
(営業利益率)	(2.8%)	(4.5%)	(1.7%)	
親会社所有者帰属 当期利益	884	1,450	565	63.9

<売上収益 セグメント別内訳>

テクノロジーソリューション	31,266	30,700	△566	△1.8
サービス	26,242	25,700	△542	△2.1
システムプラットフォーム	5,023	5,000	△23	△0.5
ユビキタスソリューション	6,455	6,400	△55	△0.9
デバイスソリューション	5,443	5,600	156	2.9
その他/消去又は全社	△1,835	△1,700	135	-
連結計	41,329	41,000	△329	△0.8

<営業利益 セグメント別内訳>

テクノロジーソリューション	[△362] 1,907	[-] 2,500	[362] 592	31.1
サービス	[△336] 1,500	[-] 2,020	[336] 519	34.6
システムプラットフォーム	[△26] 407	[-] 480	[26] 72	17.9
ユビキタスソリューション	[△17] 173	[-] 140	[17] △33	△19.4
デバイスソリューション	[△40] 42	[-] 140	[40] 97	229.1
その他/消去又は全社	[-] △949	[-] △930	[-] 19	-
連結計	[△420] 1,174	[-] 1,850	[420] 675	57.5

※括弧内はビジネスモデル変革費用